

(功績内容記載方法 見本)

賞 罰 歴		
年 月 日	主 体	内 容

功 績 内 容	<p>1. 看護業務の改善と推進 平成〇年に、に〇〇システムを導入するにあたり、院内チームのリーダーとなり、体制を構築、その結果、〇〇業務の効率化が図られ、患者サービスの向上につながった。 平成〇年には、看護記録の改善に取り組み、「〇〇」、「〇〇」の手法を導入、業務の効率化だけでなく、看護の質向上にもつながった。</p> <p>2. 教育・後輩の育成 昭和〇年から看護学生の臨床指導者として、後輩の育成に寄与した。また、院内の教育担当として、〇〇研修会を立ち上げ企画を担当し、現任教育体制の基礎を作った。看護研究にも積極的に関わり、院内の看護の質向上に尽力している。</p> <p>3. 学会・研究会での発表 平成〇年、北海道〇〇学会で「〇〇〇〇の看護について」を発表、常に探求心をもって業務に従事している。「〇〇〇〇の看護」については学会誌への投稿が〇編ある。</p> <p>4. 〇〇〇〇協会での活動 〇〇地区支部教育委員、書記を歴任、管内看護師のニーズに対応した研修の企画等、〇〇支部の活動の充実に貢献した。また、〇〇会議の開催により、会員同士の連携の基礎を作った。</p> <p>昭和〇年〇月～昭和〇年〇月 〇〇協会〇〇支部教育委員 平成〇年〇月～平成〇年〇月 " 書記</p>
参考となる事項	